

式辞（午前の部）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。日本体育大学の教職員を代表して、皆さんを歓迎するとともに、心よりお祝い申し上げます。また、ご家族、関係者の皆様、本日は誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご家族、関係者の皆様には映像での配信となりましたが、ご理解、ご協力賜り、誠にありがとうございます。

さて、皆さんが晴れて入学した日本体育大学は日高藤吉郎先生によって今から 130 年前の 1891 年に体育会として設立されました。1891 年と言えば、アメリカの YMCA においてジェームス・ネイスミスがバスケットボールを考案した年でもあり、その 3 年後には国際オリンピック委員会（IOC）が創設されました。その 2 年後には、第 1 回の近代オリンピックが開催されました。つまり、地球上において今につながるスポーツが、あちらこちらで整備され、登場した時代であったわけです。日本体育大学はそうした時代にできあがり、現在に至っています。

この間、スポーツに与えられた役割は大きく変化してきました。言葉の意味一つとっても、スポーツは、元々、ラテン語の「デポルターレ」に由来し、運ぶや運搬する、というものでしたが、それが転じて、やがて「気分転換や気晴らし、楽しみ、休養」といった意味を持つようになりました。本学が設立された 19 世紀後半では一般的にスポーツは狩猟、ハンティングを意味する言葉として使われていました。現在、スポーツと言えば、陸上競技や野球、サッカー、ラグビー、水泳などから登山や狩猟に至るまで、遊技、競争、肉体的鍛錬の要素を含む身体運動の総称として、理解されています。しかし、いっぽうで国際チェス連盟は国際オリンピック委員会に承認されていることからするとスポーツと位置づけることができますし、最近では e-Sports というジャンルまで登場しています。

このように本学が歩んできた 130 年の歳月は、近代スポーツが登場し、その後スポーツが地球規模で拡大する時代と符合しているのです。皆さんもイメージできるように、スポーツの世界は今でも増殖して、拡大を続けています。そうした中であって、自分の未来を一度立ち止まって考えてみることも必要かもしれません。

私も本学の卒業生ですが、今から 40 数年前に入学したときには、保健体育の教員を目指していました。ところが、大学で学んだ様々な学問と、また多くの先生たちとの出会いが、その後、世界各地にある伝統スポーツを調査研究するという、思いもよらなかった道を開くことになりました。

大学は学問の場であり、知的探求の場です。体育やスポーツとは人間にとってどのような価値があるのか。体育やスポーツは社会に対してどのような貢献ができるのか、新しいスポ

ーツ技術を身につけたり、指導するには、どのような方法が効果的なのか、豊かなスポーツライフとは何か、など、様々な「問い」とその答えを大学の授業やクラブ活動、また、教職員との会話や同級生たちとの議論の中から発見することができるかもしれません。大学で得た最先端の知識や技術は、やがて時が経つと共に色あせていきます。したがって、勉強は一生続けなければなりません。これを支えていくのが、大学で知識や技術を学ぶ過程で習得されていく、「学ぶための方法」や「考えるための方法」です。これをひとたび身につけると、一生涯にわたって利用が可能で、皆さんの人生にとってかけがえのない財産になります。

人生 100 年時代と言われるようになりましたが、その中での 4 年間は一瞬の時間かもしれません。しかし、この時間が間違いなく、その後の皆さんの人生を方向付ける重要な時間になります。学生時代の様々な経験を通して、皆さんが一回りも二回りも成長し、今までに出会うことのなかった体育やスポーツの世界と接続することを期待しています。

今年度もコロナ禍の中で、制約されたコミュニケーションを取らざるを得ませんが、本学は皆さんの安全を守りながら最高学府としての授業を提供していきます。感染症の状況はいましばらく皆さんの予防学的な行動を必要としますが、自分自身の身を守りながら、他者に対する思いやりを忘れずに行動するという経験は、皆さんのこの先の人生において何物にも代えがたい資産になると確信しています。

最後に、皆さんに大いに期待していることがあります。それは日本体育大学の歴史と伝統を継承し、さらなる発展につながる担い手になってほしいということです。いままさに社会が変化をはじめています。コロナ禍や自然災害による災禍は社会変動に拍車をかけています。このような時代の中にあって、皆さん一人ひとりには、これから先の時代をリードするとともに、新しい社会を創造する人財になってもらいたいと願っています。

日本体育大学での学生生活が皆さんにとって、実り多く、充実したものになるように、お祈りし、私の式辞といたします。

令和 3 年 4 月 3 日

日本体育大学 学長 石井隆憲